

<掲載文に受賞された論文のテーマ>

Involvement of epithelial-mesenchymal transition in methotrexate-induced pulmonary fibrosis.

Journal of Toxicological Sciences, 39(2), 319-330, 2014.

<概要>

リウマチの治療薬の1つであるメトトレキサートは、重篤な副作用として間質性肺炎を発症することが知られております。しかし、その発症メカニズムについては不明な点が少なくありません。一方、ヒト肺線維症の線維化巣において、肺胞上皮細胞が **epithelial mesenchymal transition** を介した筋線維芽細胞が蓄積していることが報告されていますが、**EMT** を介した肺胞上皮細胞の形態変化と **MTX** 誘発肺傷害を検討した報告は見当たりません。本研究論文では、**MTX** による肺障害時に **EMT** が関与しているか否かについて検討しました。その結果、**MTX** 誘発肺障害には、少なくとも **EMT** が関与しており、さらにそれには **IL-6** や **TGF- β 1** が中心的な役割を担っていることを示しました。